

平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ハブ

コード番号 3030 URL <http://www.pub-hub.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 高見 幸夫

TEL 03-3526-8682

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	3,834	15.3	448	39.6	447	38.4	256	73.3
24年2月期第2四半期	3,324	1.0	321	33.3	323	32.1	147	8.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	20,558.01	20,505.93
24年2月期第2四半期	11,869.72	11,865.06

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	3,738	2,041	54.6
24年2月期	3,597	1,868	51.9

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 2,041百万円 24年2月期 1,868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	6,700.00	6,700.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	7,500.00	7,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,530	10.6	630	12.5	630	12.5	340	24.1	27,290.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期2Q	12,462 株	24年2月期	12,457 株
25年2月期2Q	— 株	24年2月期	— 株
25年2月期2Q	12,458 株	24年2月期2Q	12,449 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における国内経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復基調が見られたものの、欧州債務危機を背景とする海外景気の下振れや原油価格の高止まり、電力の安定供給への懸念などから、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移いたしました。

一方、外食産業におきましては、消費者の外食頻度には持ち直しの傾向が見られるものの、外食に対する低価格志向が定着しており、顧客確保のための企業間競争がさらに激化するなど、取り巻く環境は引き続き厳しいものとなっております。

このような状況から、当社は、当事業年度のスローガン「変革と継続」を掲げ、お客様にとって負(不)のないサービスの提供を大前提に、震災後の逼迫した状況下で一定の成果をあげたヒト・モノ・カネのマネジメントを、より科学的に分析し標準化することで継続できる仕組みづくりを行って参りました。

その中で、特に重点的に取り組んで参りました施策のひとつとして、生産性向上を目的とした標準ソフト(人員配置)の見直しが挙げられます。震災を機に店舗での人員配置について徹底的に見直しをかけることで飛躍的に向上した人時売上高を、今後も継続していくことができる仕組みに変えるため、従来の作業項目を分単位・秒単位で精査・改善し、清掃業務については外部委託を実験的に導入するなど、生産性の向上に繋げる取り組みを着実に進めて参りました。

また、震災直後、資金確保のため応急処置的に見送りました、将来の成長に必要な投資につきましては当事業年度より再開し、その手始めにオープン以来の業績が当初計画を大きく上回って推移しているHUB秋葉原店の増床を、また、経年劣化による設備及び内外装の不備を改善しリフレッシュを図るため、HUB日比谷店の全面改装に着手いたしました。

さらに、長い年月をかけ継続的に取り組むことで、英国PUBの楽しみ方のひとつとして育て参りましたサッカーをはじめとするスポーツイベントにつきましても、現状に満足することなくお客様満足度の向上に努めることにより当第2四半期累計期間の業績に大きく貢献する結果となりました。これらにより、既存店の前年同期比につきましては、売上高111.5%、客数110.4%となっております。

店舗につきましては、82業態2店舗(池袋東口店、横浜西口店)を出店し、当第2四半期末現在における店舗数は直営店73店舗、のれんわけ店1店舗、計74店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,834百万円(前年同期比15.3%増)、営業利益は448百万円(前年同期比39.6%増)、経常利益は447百万円(前年同期比38.4%増)、四半期純利益は256百万円(前年同期比73.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期累計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて140百万円増加し、3,738百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて132百万円増加し、1,501百万円となりました。これは主に現金及び預金並びに前払費用が増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べて8百万円増加し、2,237百万円となりました。これは主に新規出店に伴う有形固定資産及び差入保証金が増加したものの、減価償却等により有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は前事業年度末に比べて32百万円減少し、1,696百万円となりました。これは主に買掛金及び未払費用が増加したものの、借入金、未払金及び賞与引当金が減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べて173百万円増加し、2,041百万円となりました。これは配当金の支払により83百万円減少したものの、四半期純利益256百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べて110百万円増加し、1,166百万円となりました。それぞれの詳細は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、400百万円(前年同期比49百万円の増加)となりました。

主な要因は、税引前四半期純利益が436百万円、減価償却費が132百万円あった一方で、法人税等の支払額が174百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、77百万円(前年同期比51百万円の増加)となりました。

主な要因は、差入保証金の回収による収入が17百万円あった一方、有形固定資産の取得による支出が54百万円及び差入保証金の差入による支出が22百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、211百万円(前年同期比252百万円の増加)となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出が36百万円、割賦債務の返済による支出が79百万円及び配当金の支払額が83百万円あったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の通期の業績予想につきましては、平成24年7月13日発表の第1四半期決算短信で開示した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,507	1,166,986
売掛金	22,785	15,780
原材料及び貯蔵品	42,302	52,178
その他	247,029	266,063
流動資産合計	1,368,625	1,501,008
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,028,397	1,017,820
その他(純額)	177,462	192,790
有形固定資産合計	1,205,859	1,210,610
無形固定資産	38,203	32,290
投資その他の資産		
差入保証金	871,206	876,678
その他	113,324	117,442
投資その他の資産合計	984,530	994,120
固定資産合計	2,228,593	2,237,022
資産合計	3,597,218	3,738,030
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,335	212,801
1年内返済予定の長期借入金	72,000	72,000
未払金	335,940	298,950
未払法人税等	187,000	179,500
賞与引当金	144,664	113,795
その他	232,699	266,378
流動負債合計	1,130,639	1,143,426
固定負債		
長期借入金	199,500	163,500
リース債務	58,981	57,739
長期未払金	224,665	213,292
資産除去債務	114,718	118,145
固定負債合計	597,865	552,676
負債合計	1,728,504	1,696,103

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,463	628,741
資本剰余金	192,063	192,341
利益剰余金	1,048,187	1,220,845
株主資本合計	1,868,714	2,041,927
純資産合計	1,868,714	2,041,927
負債純資産合計	3,597,218	3,738,030

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	3,324,273	3,834,134
売上原価	918,395	1,037,474
売上総利益	2,405,877	2,796,659
その他の営業収入	11,991	17,289
営業総利益	2,417,869	2,813,949
販売費及び一般管理費	2,096,472	2,365,315
営業利益	321,396	448,633
営業外収益		
受取利息	207	229
受取保険金	2,336	—
固定資産受贈益	1,757	558
雑収入	511	751
営業外収益合計	4,812	1,540
営業外費用		
支払利息	2,948	2,856
雑損失	—	56
営業外費用合計	2,948	2,912
経常利益	323,261	447,260
特別損失		
固定資産除却損	4,748	9,567
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62,186	—
その他	284	950
特別損失合計	67,218	10,517
税引前四半期純利益	256,043	436,743
法人税、住民税及び事業税	126,775	167,102
法人税等調整額	△18,498	13,520
法人税等合計	108,277	180,622
四半期純利益	147,766	256,120

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	256,043	436,743
減価償却費	125,782	132,083
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,499	△30,869
受取利息	△207	△229
支払利息	2,948	2,856
有形及び無形固定資産除却損	4,748	9,567
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62,186	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,811	7,005
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,510	△9,876
仕入債務の増減額(△は減少)	42,681	54,466
未払金の増減額(△は減少)	△18,163	△27,207
その他	4,741	2,768
小計	461,939	577,309
利息の受取額	207	229
利息の支払額	△3,047	△2,848
法人税等の支払額	△108,976	△174,638
営業活動によるキャッシュ・フロー	350,122	400,052
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,677	△54,188
無形固定資産の取得による支出	△450	—
差入保証金の回収による収入	12,020	17,175
差入保証金の差入による支出	△6,846	△22,647
長期前払費用の取得による支出	△5,867	△19,013
長期貸付金の回収による収入	962	1,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,858	△77,672
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	240,000	—
長期借入金の返済による支出	△45,162	△36,000
リース債務の返済による支出	△10,718	△13,709
割賦債務の返済による支出	△85,078	△79,285
株式の発行による収入	—	555
配当金の支払額	△58,510	△83,461
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,530	△211,901
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	364,794	110,478
現金及び現金同等物の期首残高	485,476	1,056,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	850,271	1,166,986

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。